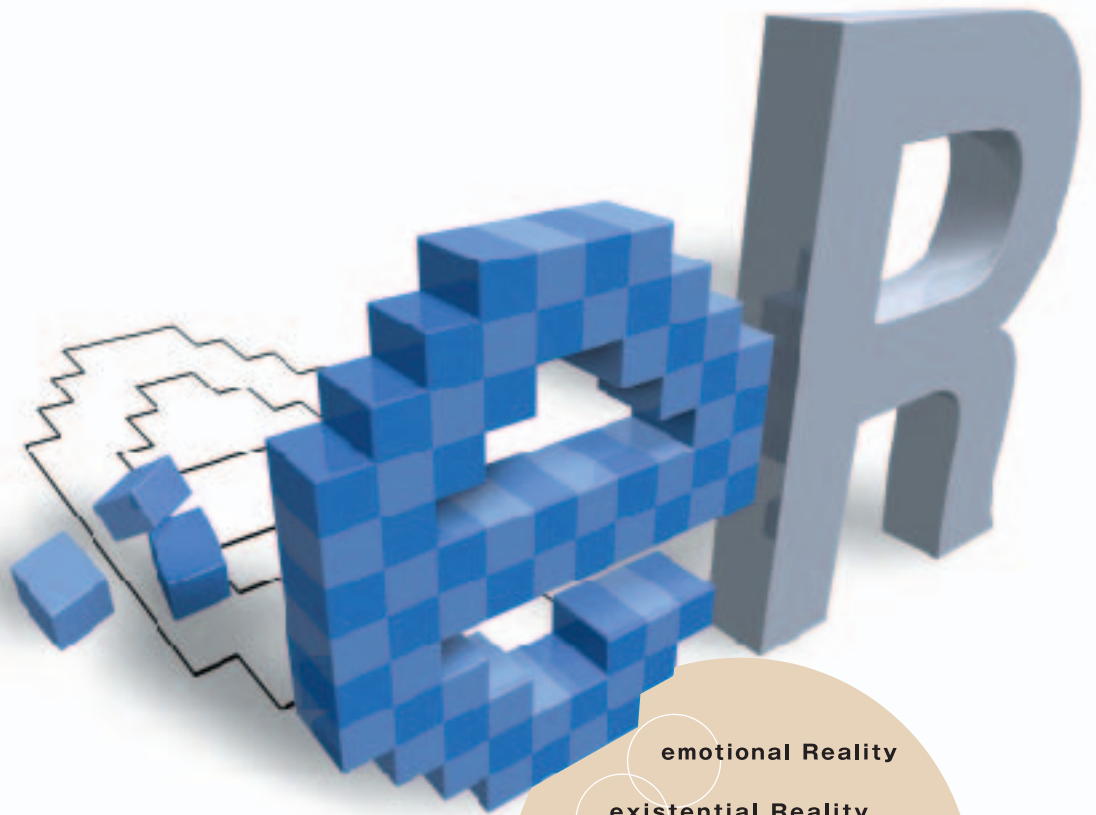


eReality

“体験し、感じる”次世代ヒューマン・インターフェース・テクノロジー



emotional Reality

existential Reality

experiential Reality

essential Reality

eReality



eReality

本格的なブロードバンド時代を迎え、あらゆる業界、業種においてWebによる情報配信の重要性がますます高まるなか、ただ一方的な情報提供にとどまらないインタラクティブかつ、人の認知モデルと適確に連携したリアル&ヒューマンなインターフェースが求められています。eRealityは、Web3D技術をはるかに超えた知的表現により、見るだけのコンテンツから、“体験し、感じる”ことのできるコンテンツへと変えるユーザ・フレンドリーなインターフェースを実現。あらゆる情報空間に、よりリアルで、よりヒューマンなコミュニケーションを提供し、サービス・ナビゲーションや、サイバー・エンターテインメント、インタラクティブ教育、機能カタログサービスなど、さまざまな分野で活躍します。

Webと人の 新たな関係を築きます

Web3D技術をはるかに超えた、知的表現が可能です

- 3D-OSにより、物体変容や現象、製品機能など、多彩な表現力を発揮します。
REACTOR
- 表情などによる感情表現、及びキャラクターの性格付けが可能です。
expression database
- 3Dドラッグ&ドロップにより、3D物体の移動、組立てが自由自在です。
deTach & atTach
- サイバー・ブレード配信により多様なサービスを実現します。
Cyber Blade
- 国内開発により、きめ細かな対応が可能です。
Made in Japan

emotion

function

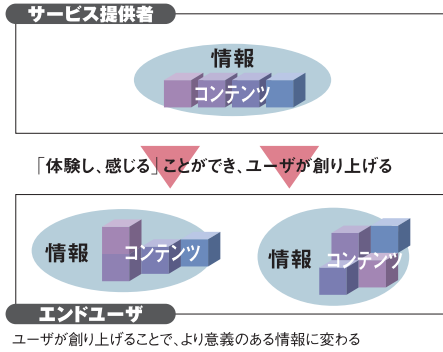
transition

情報フロントエンドに リアル&ヒューマンな コミュニケーションを実現

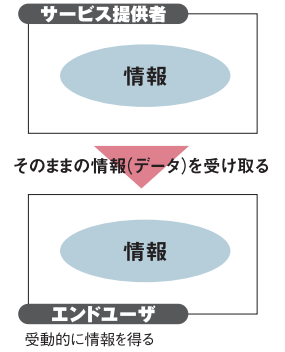
■“体験し、感じる”インターフェースを実現

従来のWebやWeb3D技術は、“見る”ことだけを前提とした一方的で画一的な情報提供のための手段にすぎませんでした。eRealityは、エンドユーザ自らがそこに参加し、“体験し、感じる”ことができるリアルでヒューマンな仮想空間を実現します。独自の性格や行動規範を持ち、感情表現ができるサイバー・オブジェクトが自律的にさまざまな動作を実行。ユーザは、まるで馴染みの店を訪れたときのようなパーソナルな対応と、自分だけの特別な情報が得られるのです。また、エンドユーザがコンテンツを選んで組み合わせたり、製品機能を試してみることも自在にでき、自分だけのオリジナリティあふれるストーリーを体験して、より有意義な情報に創り上げることが可能です。

〈eRealityの考え方〉



〈従来の考え方〉



多様なサービスモデルが運用できます

各コンテンツのブレード化(XML)を実現

ビジュアル・コンテンツ、行動基準、業務ロジック、機能・性格などそれぞれ、XMLによるブレード化を実現しました。

サイバー・ブレード配信(ブレードの分割配信)

各ブレードを単独で配信することができるので、不要なデータの配信がなく、配信スピードの最適化につながります。

ブレードの組み合わせで多様なサービスを生成

ブレード化された各コンテンツを組み合わせることで可能性が広がり、多様なサービスをご提供できます。

運用モデルに応じて動的な配信が可能

サービスモデルに従って、サーバからのプッシュ配信やクライアントからの要求に応じたダウンロード配信が可能です。

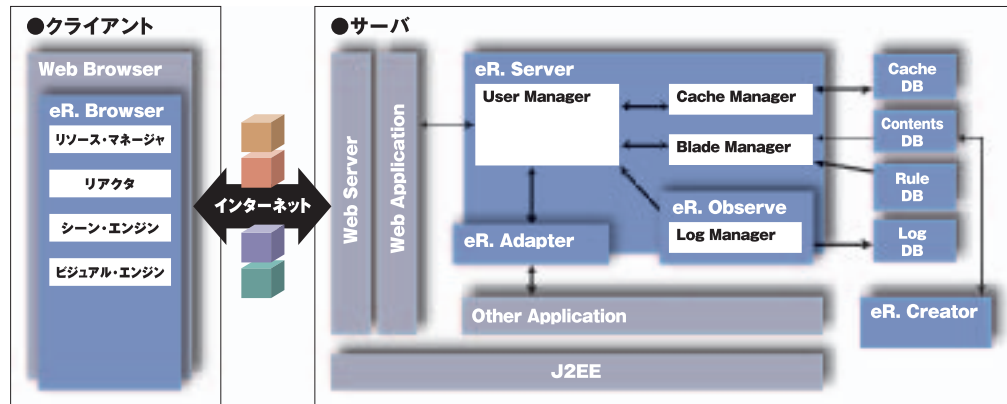
サイバー・オブジェクト
色、形、デザインなど目に見える形状

アクション・ブレード
物理的な動き(行動の基本)

ビヘイビア・ブレード
論理的な行動(動きの組み合わせ)

コントロール・ブレード
行動の制御(シナリオや性格など)

■eRealityシステム構成図



さまざまな分野で活躍します

たとえば、eサービスのフロント・エンドとして利用することにより、キャラクターが顧客に合わせたコミュニケーションをとりながらサービスをおすすめすることも可能。また、配信された部品やパーツを組み立てて独自の性格を持つ自分だけのロボットが作れるといった、サイバー・トイ販売事業への展開など、アイデアと使い方次第で可能性は無限に広がります。

Webによるさまざまなサービスや事業に…
さらなる高付加価値を創造します



※ e-Learningでは、SCORMに対応し、学習履歴の記録が可能です。

製品体系

eReality ver. 1.0 Light	eR.Browser	Webブラウザへのプラグイン(無償ダウンロード)
	eR.Server	eRコンテンツの管理・配信サーバ
	eR.Creator ver1.0	コンテンツ開発ツール
eReality ver. 1.0 Standard	eR.Browser	Webブラウザへのプラグイン(無償ダウンロード)
	eR.Server	eRコンテンツの管理・配信サーバ
	eR.Observe	オブザベーション・ログ管理システム
	eR.Adapter	システム・データ交換用アダプタ
eRealityコンテンツ開発ツール	eR.Creator ver1.0	コンテンツ開発ツール

※コンテンツを開発するためには、eR.Creatorの他に市販の3次元モデリングツール(Maya、LightWave3D、SOFTIMAGE 3D等)でCGを作成する必要があります。

動作環境

サーバ

Windows版	OS	日本語Windows 2000 Server/Advanced Server、または日本語Windows NT Server 4.0 SP6以上
	ハードウェア	PentiumII 300MHz以上、メモリ256MB以上
	必須ソフトウェア	Webサーバ(HTTP1.1以上に対応していること)
Solaris版	OS	日本語Solaris 2.6、日本語Solaris 7、日本語Solaris 8
	ハードウェア	UltraSPARC™以上、メモリ256MB以上
	必須ソフトウェア	Webサーバ(HTTP1.1以上に対応していること)

クライアント

OS	Windows 98、Windows Me、Windows XP、Windows NT4.0、Windows 2000
ハードウェア	PentiumII 300MHz以上推奨、メモリ64MB以上推奨、VRAM 4MB以上推奨
必須ソフトウェア	Internet Explorer ver 5.0以降

Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Sun Solarisは、米国Sun Microsystem社の登録商標です。その他、本カタログに掲載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。※本カタログの情報は2010年10月現在のものです。製品の仕様は、改良のため予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承ください。

インターネットで詳細情報をご覧いただけます ▶ <http://www.lexer.co.jp/product/ereality/>



LEXER

株式会社 レクサー・リサーチ

〒101-0031 東京都千代田区東神田3-1-2
東神田金子ビル2F

Tel.03-5821-8003 Fax.03-5821-8098
e-mail info@lexer.co.jp